

2013年度受託研究概要報告

神戸ビエンナーレ2013 広報印刷物等のデザイン及びその効果についての研究

研究メンバー

赤崎正一	デザイン学部ビジュアルデザイン学科教授
荒木優子	デザイン学部ビジュアルデザイン学科教授
市野元和	先端芸術学部クラフト・美術学科教授
友定聖雄	先端芸術学部クラフト・美術学科教授
安森弘昌	先端芸術学部クラフト・美術学科准教授
岩田広己	先端芸術学部クラフト・美術学科准教授
高 台泳	デザイン学部ビジュアルデザイン学科助教
萩原こまき	デザイン学部ビジュアルデザイン学科実習助手
永井健一	デザイン学部ビジュアルデザイン学科実習助手
清水 薫	デザイン学部ビジュアルデザイン学科実習助手
田口史樹	先端芸術学部クラフト・美術学科実習助手
杉本ひとみ	先端芸術学部クラフト・美術学科実習助手

委託者

神戸ビエンナーレ組織委員会

研究概要

平成24年度からの継続研究で、神戸ビエンナーレ2013の開催にあたり、目的及び内容を効果的に周知するためのデザイン等を企画提案し、デザインを学ぶ学生に実践的なデザイン提案の場を提供することを目的とし、広報印刷物等のデザイン及びその効果についての研究を行う。

主な研究内容

- ①ポスター等の広報印刷物のデザインなど
- ②雑誌等への掲載広告物
- ③事実実施にかかる計画書及び募集要項等のデザインなど
- ④Web用の広報素材（広告含む）
- ⑤オフィシャルグッズの提案及びデザインなど
- ⑥入場チケット等のデザインなど
- ⑦会場運営等にかかる会場案内サインのデザインなど

研究成果

平成24年度からの研究成果を継承し、告知広告を中心に、チケットデザイン、各事業フライヤー、会場および街頭サインデザイン、会場マップ等、情報を盛り込んだデザインを行った。（デザインアイテムについては別表を参照）

ビジュアルデザインとして取り組んだ事は、前年度研究で開発したアイデンティティデザインから広告デザインへの展開で、シンボルロゴから派生した「神戸ビエンナーレ2013」のイメージが期待感とともにより具体性を持って伝わるデザインを目指したことである。また、チケットやサインなど、さまざまなデザインに展開するあたり、広告デザインとイメージの分裂が起ころぬようトータルにディレクションを行いながらデザインをすすめることに配慮した。

広告物に関しては、事業担当者との継続的連携により短時間でデザインを次々と上げる必要があり、なおかつ掲載先によって詳細情報が変わるため個々のバリエーションが必要となり、以来アイテムが膨らみ作業も煩雑を極めた。

また別途、販売用オリジナルグッズとしてノート、グリーティングカード、ポーチ、トートバッグもデザインを行った。